



関連科目，教科書および補助教材			
関連科目	英文法 I		
教科書	①「総合英語フォレスト 7th edition: Benchmark English Grammar in 25 Lessons」、②「同 Benchmark English Grammar More Drills」、③「総合英語フォレスト:Forest 7th edition」(石黒昭博 監修)。		
補助教材等	④「データベース3000 4th edition」(桐原書店)、⑤「データベース3000 4th edition ワークブック (A, B, C3冊)」(以上桐原書店)		
学習上の留意点			
【授業態度について】 「教材を持ってこない」、「私語をする」、「携帯電話を使用する」、「居眠りをする」、「飲食する」、「出席したとしても全く授業に参加しない」、といった態度や、配布したプリント類を紛失した場合は、自分だけではなく、周りの学生に悪影響を及ぼすので、大幅な減点対象とします。本の辞書でも電子辞書でも構いませんので、辞書は必ず持参してください。			
【勉強の仕方について】 毎日の積み重ねが大切です。予習と復習にはじっくりと取り組んでください。予習の段階で英文に目を通して分からない単語や難しそうな英文に見当をつけておいて授業で確認する、という方法を身につけると効率が良いと思います。外国語の学習は自分から学ぶ、という姿勢を身につけることが大切です。分からないことがあったら、授業中でも授業以外でも、気軽に質問してください。			
担当教員からのメッセージ			
長い英文であっても、注意深く読んでみれば、中学の時に習ったものが組み合わせられて長くなっているということに気づくと思います。キチンと読めるようになるには、授業に積極的に参加して予習・復習の習慣を身に付けてください。難しいことや新しいことに直面することも多いと思いますが、外国語として英語に取り組んでいる教員の私も、そのあたりは学生の皆さんと同じです。英語は、学生と教員が、それぞれの立場で新しいことに会って取り組んで、一緒に成長することが出来るという魅力的な科目だと思います。皆さんからの質問は、私自身が教員として、皆さんにどのように答えたらよいかということを考える良いきっかけになりますので大歓迎です。一緒に学んでいきましょう！最後に、グローバル化ということで英語の大切さが叫ばれていますが、英語だけを大切にすることはなく、英語以外にも世界には数え切れないほどの言葉があって、それぞれとても魅力的でかけがえのないものである、ということも忘れてください。			
授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 初めに	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。	
2	第8章 態 (1)	・受動態が使われる場合 ・受動態の基本 ・助動詞を含む受動態 を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 30-31の予習・復習
3	第9章 態 (2)	・進行形の受動態 ・完了形の受動態 ・SV O Oの受動態 ・S V O Cの受動態を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 32-33の予習・復習
4	Plus 態	・疑問詞を使った疑問文の受動態 ・群動詞の受動態 ・say, believeなどの受態を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 34-35の予習・復習
5	第10章 不定詞 (1)	・不定詞 ・名詞的用法 ・形容詞的用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 36-37の予習・復習
6	第11章 不定詞 (2)	・副詞的用法 ・S V O +to 不定詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 38-39の予習・復習
7	第12章 不定詞 (3)	・不定詞の意味上の主語 ・否定語の位置 ・使役動詞/知覚動詞+O+動詞の原形を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 40-41の予習・復習
8	中間試験		
9	Plus 不定詞 ①	・ seem + to不定詞と完了形の不定詞 ・進行形の不定詞 ・受動態の不定詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 42-43の予習・復習
10	Plus 不定詞 ②	・自動詞+to不定詞 ・不定詞の注意すべき用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 44-45の予習・復習
11	第13章 動名詞	・動名詞 ・動名詞の働き ・動名詞の意味上の主語 ・否定語の位置を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 46-47の予習・復習

12	Plus 動名詞 ①	・受動態の動名詞 ・完了形の動名詞 ・動名詞を使った重要表現を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 48-49の予習・復習
13	Plus 動名詞 ②	・動詞に応じて動名詞が表す「時」が変わる ・目的語に動名詞をとる動詞 ・目的語が動名詞と不定詞で意味の異なる動詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 50-51の予習・復習
14	演習	・既習の文法項目と語彙用いた英語演習	別途配布プリント
期末試験			
15	答案返却・解答解説 前期のまとめ	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	テストのやり直しレポート作成

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	第14章 分詞 (1)	・現在分詞と過去分詞 ・名詞を修飾する分詞 ・分詞構文の否定語の位置を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 52-53の予習・復習
17	第15章 分詞 (2)	・SVO+分詞 ・使役動詞+O+分詞 ・知覚動詞+O+分詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 54-55の予習・復習
18	第16章 分詞 (3)	・分詞構文の形と働き ・分詞構文の意味 ・分詞構文の否定語の位置を理解し、理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 56-57の予習・復習
19	Plus 分詞	・完了形の分詞構文 ・分詞の意味上の主語を明示する場合(独立分詞構文) ・慣用的な分詞構文を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 58-59の予習・復習
20	第17章 比較 (1)	・原級・比較級・最上級 ・原級を使った比較 ・比較級を使った比較を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 60-61の予習・復習
21	第18章 比較 (2)	・最上級 ・最上級を使った比較 ・原級・比較級を使って最上級の意味を表すことを理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 62-63の予習・復習
22	Plus 比較	・原級・比較級を用いたさまざまな表現を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 64-65の予習・復習
23	演習	・既習の文法項目と語彙用いた英語演習	別途配布プリント
24	中間試験		
25	第19章 関係詞 (1)	・主格と目的格 ・所有格を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 66-67の予習・復習
26	第20章 関係詞 (2)	・前置詞と関係代名詞 ・what ・限定用法と継続用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 68-69の予習・復習
27	第21章 Plus 複合関係詞 (3)	・関係詞where/when/why/how ・関係副詞の継続用法 ・複合関係詞を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 70-71の予習・復習
28	第22章 仮定法 (1)	・直接法と仮定法 ・仮定法過去 ・仮定法過去完了を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 72-73の予習・復習
29	第22章 Plus 仮定法 (2)	・wishの後の仮定法 ・as ifの後の仮定法 ・未来のことを表す仮定法 ・i fの省略を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	教科書pp. 74-75の予習・復習
	期末試験		
30	試験返却・解答解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、間違った箇所を理解する。 後期の学習事項のまとめを行う。	テストのやり直しレポート作成
総 授 業 時 間 数			60 時間